

市民の皆様と一緒に川西市の広報媒体を見直そう

伝え方総点検 まとめました



2026. 03

川西市の情報発信をしているいろんな広報媒体。
市民は本当に必要な情報を入手できているのか？
市民の皆様と一緒に考えながら
市で広報媒体の内容について見直し、
実践した2年間の取り組みをまとめました。
ぜひご覧ください。



川西市 広報広聴課

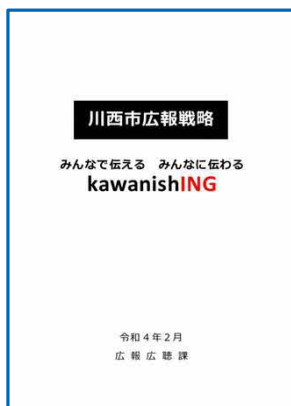
01 伝え方総点検ってなに？

川西市は広報事業について、次のような方針、目標を掲げています。



第6次総合計画（R6.4～R14.3）

- ・ 情報共有を通じた市民と行政、双方向のコミュニケーションと良好な関係づくり
- ・ 事業、業務のお知らせや結果だけでなく、考え方や途中経過なども含めた情報の発信
- ・ 市民にとって分かりやすく伝わりやすい情報の発信



広報戦略（R4.2～）

- ・ 市民と市の良好な関係づくりを図るため、市民目線の広報を行う
- ・ 広報誌やホームページ、パブリシティ活動などを通じて、行政情報などを提供するほか、市民とともに川西の良さを市内外に発信する

はたして、市民は必要な情報を入手できているのか？

川西市は市民目線の広報ができているのか？

目標達成のために、すべての広報媒体について見直しを実施。

検討した内容を反映したり
新しいことにも取り組んでみよう！という取り組み。

それが **伝え方総点検** です！

02 市民の意見を聞くワークショップを開催

市が発行している広報誌やSNSについて市民の皆様の意見を聞くために、
広報誌編とSNS編に分けて市民ワークショップを各2回実施。

のべ13名の方々にご参加いただきました。

STEP
1

課題はなんだろう

2024. 10. 12

STEP
2

まとめましょう

2024. 11. 9



TALK ON Public Relations in KAWANISHI

9/20(金) 〆切

伝え方 総点検

市民ワークショップ 参加者募集！

市が発行している広報誌やSNSについて
皆様の意見を聞かせてください！

ワークショップは広報誌とSNSに分けて実施します
お好きな方にご参加ください（両方参加も大歓迎！）

STEP 1 課題はなんだろう
10/12 (土) 全2回

STEP 2 まとめましょう
11/9 (土)

謝礼
1日のご参加につき、
1,000円分の図書カードを
お渡しします（最大2,000円）

時間 10/12, 11/9 ともに〔広報誌編〕 10:00～12:00
〔SNS編〕 13:00～15:00

場所 川西市役所地下1階 HUG STUDIO
※ 各グループ20名程度を
想定しています

興味のある方は、ぜひご参加ください！ ※ 応募者多数の場合は抽選

川西市 広報広聴課 電話 666-8501 川西市中央町12-1
072-740-1104 E kawa0003@city.kawanishi.lg.jp

広報誌編

川西市の広報誌について、
普段思っていること、こんなことを載せてほしいなど、
率直な意見を寄せていただきました。

近隣市や大学の広報なども用意し、
見比べながら一緒に研究しました。



S N S 編

川西市のSNSについて、
こんなことをつぶやいたらフォローしたくなるのでは？など、
率直な意見を寄せていただきました。

各SNSの違いも整理しながら、
それぞれの媒体で知りたいことを探りました。



02-1 ワークショップ 実施内容（広報誌編）

市民ワークショップ（広報誌編）ではまず、
広報誌 milife の中身はどうなっているのか分析しました。

① 表紙



② 特集記事



③ Topics

④ 相談の案内 / ⑤ 市政情報

⑥ Information / お知らせコーナー



⑦ コラム



⑧ Photo News

⑨ 裏表紙

案内
発表・鑑賞
公民館、福祉
健康、スポーツ
催し
中央図書館
高齢者、子育て

02-1 ワークショップ 実施内容（広報誌編）

ワークショップ参加者の皆様から、広報誌について様々なご意見をいただきました。

レイアウト・体裁のこと

- ・記事のテーマは大きな文字にして目立つように
- ・記事に子ども、高齢者などのアイコンを設けてはどうか
- ・読み物とそうでないものの整理をしたほうがよい
- ・市民全体に知らせることは大きく、ニッチな内容はQRコードでリンクでもよいのでは
- ・ベタうちの記事のQRの場所が分かりにくい
- ・インデックスは色分け、集約ページをつけるなどはどうか → 例）豊中市広報
- ・縦書きと横書きが混在されているが、意図をもって整理を ... etc.



内容のこと

- ・イベントを色々しているため、まとまったイベント情報がもう少しほしい
- ・人の活動の様子や、地元のドクター、読者の声に目をつけるのはどうか
- ・市民ミーティングの模様などの内容をしっかり載せてほしい
- ・背表紙にスマホの使い方などを載せてネット環境に誘導できるように ... etc.



ワークショップをふまえ、以下の3点について見直しを行い、
milife 2025年4月号から段階的に試行することを
レポートで宣言しました。（レポートは公共施設で配布・市HPにアップ）

レイアウト・体裁のこと

POINT

01

インデックスのページを新設

各ページの内容を示すインデックスをわかりやすくするため、インデックスページを新設。他にも読者の声や、SNSなどへの案内などもまとめます。

POINT

02

Information お知らせコーナーの見せ方を検討

縦書きか横書きか、ピクトグラムの追加、HPへの誘導の仕方を含めてInformation お知らせコーナーのより良い見せ方を検討します。

内容のこと

POINT

03

コラム、イベントスケジュールの見せ方を検討

既存のコラムやイベントスケジュールについて、ワークショップもふまえて見せ方を検討します。

〔参考〕milifeに掲載しているコラム

→ 意外と知らない体の話、歯の話、子育てSTYLE
参画と協働の芽、食と育つ、生きる、消費生活センターだより

02-2 ワークショップ 実施内容（SNS編）

市民ワークショップ（SNS編）ではまず、市の情報発信のため、運用しているさまざまなSNSについてどんなことをつぶやいているのか、分析しました。



X (旧 Twitter)



Instagram



イベント内容
+ 写真（4枚）



各課からのお知らせ
（文章 + HPへの
リンク・写真）



プレスリリース内容



他ユーザー
つぶやきのリポスト

一部シェア



写真メインでイベントなどの様子をお届け
市長が生で質問に答えるインスタライブも



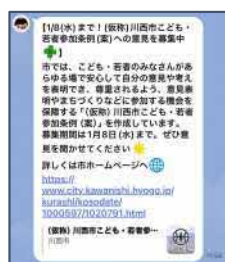
LINE



Facebook



YouTube



各課からのお知らせ
（文章 + HPへのリンク・写真）



ごみのお知らせや
自由質問への回答



各課からのお知らせ
（文章 + HPへのリンク・写真）



動画で市の施策・
イベントなどをPR

02-2 ワークショップ 実施内容（SNS編）

ワークショップ参加者の皆様から、SNSについて様々なご意見をいただきました。

- 全般
 - ・川西市のSNSがこんなにあると知らなかったし、フォローもしていなかった
 - ・どこでいつどんなイベントがというまとまった情報を
 - ・お店の紹介を市民が取材して、アップするのはどうか
 - ・SNSフォロワーへのプレゼントとか何かしないとなかなかフォロワーは増えない
 - X
 - ・Xは、即時性が大事 → 災害情報、電車情報、土砂崩れ、注意喚起がほしい
 - ・特にXは告知的なものは複数回出してもよいかもしれない
 - Instagram
 - ・Instagramのショート動画（30秒ぐらい）でキセラ公園のイベントや、おすすめの場所、お店があれば出してほしいし、より川西を好きになると思う
 - ・Instagramの写真は大事 → 最初の写真は面白いものなど、よいチョイスを
 - ・フォトコンテストみたいなものを川西でやってみたら、色々な情報がやってくるし、フォロワーを増せるのではないかな
 - Facebook
 - ・Facebookに他のSNSと同じ情報が来るよりも差別化がほしい
 - 動画
 - ・YouTubeの動画は、より見てもらえるように検討を
 - ・エンタメ系か、ドキュメンタリーに特化するなどの方が見てもらいやすいのでは
 - ・テーマに沿った動画をつくってみても面白い（観光案内、お店紹介など）
 - ・ショート動画からロング版（本編）への誘導をしてみてもどうか
- ... etc.



ワークショップをふまえ、
見えてきた課題の解消に向けて、SNSの検討を続けていくことを
レポートで宣言しました。（レポートは公共施設で配布・市HPにアップ）

POINT

01

市公式SNSをもっとPRします！

市公式SNSがあまり知られていないことが課題です

→ より情報発信ができるよう、SNSをPRしていきます

POINT

02

発信する内容を見直します！

各SNSで市が発信する内容が統一されていないことが課題です

→ ワークショップで出た意見やアイデアを参考に、
各SNSごとにつぶやく内容を見直します

03 ワークショップ後、カタチにしたこと

その後、ワークショップでいただいたご意見や普段寄せられているご意見を踏まえて、市で考えたことを実践し、カタチにしました。

01

広報誌のデザインに市民の意見を反映しました

広報誌のデザインも「より良い見せ方を検討します」をカタチに

→ インデックスを分かりやすくする、余白を活用して読みやすくするなど、市民の皆様からいただいた意見を踏まえて検討し、実践しました。

実践内容も広報誌 milife（2025年4月号）で特集してお知らせ。

こんな取り組みがあったとは知らなかった、確かに見やすくなった！
とのご意見もいただきました。

広報誌！ こう変わった

読面を明る印象に
ページ全体を黒からカラー主体にすることで、読面が明るい印象になるように見直しました。

**インデックスが
分かりやすく**
各ページ左のインデックス（目次）が目立たないという声から、インデックスの文字サイズを従来より大きく、該当ページはカラー文字に変更して、目に留まるデザインにして見やすく仕上げました。

写真やイラストを活用
読面の余白ができた場所にイラストや写真を活用し、見やすくしました。

**余白を活用して
親しみのあるデザインに**
「文字が多くて読むのがしんどい」「文字との距離が近くて読みにくい」の声が多かったことから、タイトル文字を従来より大きく、余白を活用することで読みやすい読面にしました。

**見出しを
見やすく**
求人・募集・案内など各カテゴリにイラストを入れて親しみやすいデザインにしました。

**見たい・知りたい
情報を探しやすく**
問い合わせ 広報広聴課 02-7401104
令和6年度から、「伝え方総点検」という取り組みを始めています。市民と良好な関係を構築し、市民目線の広報を行うことを目標に、分かりやすく伝わりやすい情報発信とは何かを考えています。

市民ワークショップ開催 伝え方総点検
市民に必要な情報が届いているのか、市民目線の広報ができているのか、情報発信するだけでなく、市民に正しく分かりやすく伝わっているのかを確認するためワークショップを実施。広報誌の読者やSNSのフォロワーへの募集だけでなく、外国籍の市民の意見を聞くために、ALT（外国語指導助手）にも参加してもらい、話し合ってもらいました。

Step 1 課題はなんだろう？
2024.10.12

Step 2 まとめます
2024.11.9

今回は、市民を対象に広報誌とSNSについてワークショップを行い、さまざまな視点から意見が出ました。出た意見をもとに、市として検討し、情報発信について見直しました。このページでは、広報誌「information お知らせコーナー」の見せ方と、SNSのPRや発信する内容の見直しについて紹介します。

今後、広報誌ではインデックス（目次）のページ新設など、SNSではショート動画作成など新しい活用方法を検討し、段階的に進めていく予定です。今後さまざまな広報媒体について考え、テーマを決めて新たなワークショップなどを行う予定です。詳しくは決まり次第、市ホームページやSNSでお知らせしますので、その際はぜひ参加してください。

市民に寄り添い 分かりやすく伝える広報へ
市長 越田 謙治郎
市政を自分ごとと感じてもらう
市では、市民に伝える広報をめざして業務に取り組んでいます。広報の役割は、決まった情報を伝えるだけではなく、施策の検討状況や実施結果を提供することです。また、市政や地域課題について皆さんからの疑問に答えることで、市政を「他人ごと」ではなく「自分ごと」と感じてもらい、信頼感を高めることをめざしています。

分かりやすく伝える広報をめざして
「伝え方総点検」でSNSや広報誌を見直している段階ですが、今後市ホームページやチラシ、ポスターなども見直す予定です。また、通知文書や説明文書などもより分かりやすくしたいと考えています。ぜひ、皆さんの意見を聞かせてください。

SNSや動画について見直しました！
「市公式SNSがあることを知らない」「各SNSで市の発信する内容が統一されていない」などの声を受け、効果的に情報発信ができるようSNSのPRや見直しを行っていきます。

発信する内容の見直し
フォロワーの特性やインプレッション（利用者の画面に市が発信した情報が表示された回数）などから、媒体ごとに発信する内容を精査します。また、市公式YouTubeでは、新しい取り組みとしてショート動画を活用するなど、多くの人に視聴してもらえよう工夫します。

市公式 SNS をより知ってもらうために！
1月から市議員の名刺デザインリニューアルに伴い、市公式 SNS を PR するために2次元コードを名刺に印刷。市議員全員が広報担当者という意識を持ち、対外的な情報発信に努めています。

03 ワークショップ後、カタチにしたこと

02

職員の名刺デザインを一新！
統一デザインによりSNSを全職員でPRしています

「市公式SNSをもっとPRします！」をカタチに

→ 2025年1月から、名刺デザインを職員統一のデザインに変更し、市公式SNSにリンクするQRコードも記載しました。

全職員でSNSをPRすることを狙っています。



03

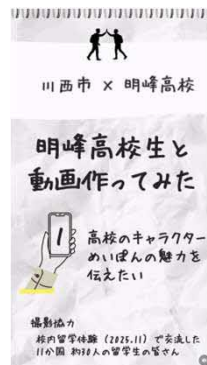
ショート動画の制作、始めています

「今まであまりできていないことにも取り組みます」をカタチに

→ 2025年1月から、積極的にショート動画の制作をスタートしました。

★ 様々なジャンルで制作すること、各SNS媒体で掲載してみることを通じて、再生数やインプレッションを見ながらよりよい発信に向けて分析を続けています。

★ 若年層にも市政に興味を持ってもらえるよう、トライやる・ウィーク（中学生の職業体験）の参加者や市内の高校生と動画の企画・制作にも挑戦しました。



■ 動画から広報誌を見てもらえるように意識したりイベントだけでなく施策を伝える動画も制作しています

■ 中学生・高校生と動画を制作したりより多くの人に見てもらえるよう内容を分析しています

03 ワークショップ後、カタチにしたこと

04

社会福祉協議会と連携 市内各地区の福祉委員会の皆様とワークショップを実施

「より良い見せ方を検討します」「発信する内容を見直します！」をカタチに

- 社会福祉協議会を通じて、市内各地区の福祉委員会の皆さんが
回覧する広報物の制作について悩んでいることを知りました。
- 広報担当の職員による講座を、2025年10月に開催。
みんなで各地区の広報で悩んでいることを共有し、
どう良くしていくかについて一緒に考えるワークショップを実施しました。



6地区（加茂、川西、明峰、清和台、東谷、大和）の
福祉委員会の皆さんと、
社会福祉協議会の職員さんたちにご参加いただきました！

【参加者の声】



普段、自分たちが作っている福祉だよりを
地区の皆さんに読んでほしいと思いながら、
どう伝えたらいいのか、
どんな紙面にしたらいいのか、悩んでいました。

広報広聴課の職員さんと話しながら広報を考えることで、
基本的な作成のポイントや手法を学ぶいい機会になったし、
実際に自分の地区での広報紙やチラシの作成に活かしてみたいです。

コミュニティでも役員や、部会員など人材不足に悩むなかで、
用語集の活用や、つくり方マニュアルを作成してみるのもいいかなと感じました。

市の広報には、やっぱり市民にスポットを当てて、
読者が自分も頑張ろうと思えるような記事をたくさん届けてほしいです。
これを機会に、一緒に何かできないかな、と思っています。



04 まとめ・これから

川西市では、第6次総合計画や広報戦略で定めている方針・目標から、市民の皆様が必要な情報を入手できているのか、市民目線の広報ができているのかをポイントに、市民の皆様と一緒に、広報媒体の見直しを行いました。

それが、**伝え方総点検**という取り組みです。

本書では、令和6年度、7年度の2年間で進めてきたことをまとめましたが、広報媒体は多岐にわたっており、この2年間の取り組みですべての見直しが終わったとは思っていません。

様々な情報を発信していくなかで、伝え方総点検の取り組みをふまえて、川西市ではこれからも、当初の方針、目標の達成に向けて検討を続けていきます。

【参考】川西市の評価指標



▶ 今後、令和8年度以降に取り組んでいくこと

- ・ より良い情報の発信に向けて、市の魅力的なスポット、イベントなどを市民目線で伝える取り組みを進めます
- ・ SNSなどを通じたアンケートを実施し、客観的に広報媒体の評価をとらえ、ブラッシュアップを図っていきます
- ・ 市役所の各部署から発行するチラシやお知らせ文書について、庁内職員への研修などを通じて、よりよい伝え方ができるように検討します

＼ 市公式SNSはこちら ／



★ ご質問、ご意見については、広報広聴課までご連絡ください。

☎ 072-740-1104

✉ kawa0003@city.kawanishi.lg.jp